

特定テーマ研究助成 本年7月公募開始のご案内

鹿島学術振興財団では、複数分野の研究者グループによる挑戦的な分野横断/融合研究を支援するため、「特定テーマ研究助成」を新設し、本年7月1日から公募を開始いたします。

私たちが将来に亘り持続可能な社会を実現していくためには、近年の自然・社会環境下で複雑化する諸問題への総合的な視野からの対処・解決が求められており、学問分野を超えた多様な研究者グループによる分野横断/融合研究が一層重要になってきています。

本研究助成では、当財団が専門家の提言に基づいて策定する「特定テーマ」について、幅広い分野の研究者グループにより様々な視点・問題意識から分野横断/融合研究として提案される研究を助成します。

応募いただく研究者グループには、広義の自然科学はもとより、人文・社会科学等の幅広い分野の専門家の他、行政・民間機関の実践に関わる方々の共同参加も期待しております。また、助成対象には、研究実施及び研究成果の出版の他、大型/先端研究の構想・準備研究、国内外の先駆例の調査活動、シンポジウム等による提言・情報発信等も含まれます。

■申請(代表)者

日本国内の大学・大学院、高等専門学校、公的研究機関等に
所属する常勤の研究者を対象

■助成金額・期間

助成金額:1件あたり最大2,000万円

助成期間:2年間(研究成果の出版等のため3年まで可)

今回募集の助成開始時期:2023年4月

■採択予定件数

2件/年程度

2022 年度公募対象の特定テーマ研究領域と特定テーマ

特定テーマ研究領域

様々な観点から近未来の社会のあり方を仮定し、それを支える都市・建築、社会基盤システム、社会制度等のあり方や、新たに必要とされる技術開発等について貢献する研究

公募対象特定テーマ

申請はこのテーマの中から 1 件を選択していただきます

① 豊かな地域居住環境を保つための持続的経営に向けたシナリオ構築

少子高齢化が進む日本の地域社会が豊かな居住環境を実現していくためには、高経年化する社会基盤、膨大な建築ストック等を地域社会の資源として活用するシナリオが不可欠である。自然科学、人文・社会科学等の専門家に加え、実践に関わる方々の参加も得たグループによる実現可能なシナリオを提案する研究。

② カーボンニュートラルな社会の早期実現に資する研究

都市や住環境の新しい脱炭素技術や、社会や建築物・資材などの供給システムの急激な転換を促す社会的な取り組みなど、カーボンニュートラルな社会の早期実現に貢献する研究。

③ 想定外事象から素早く立ち直るための研究

想定外の自然災害、感染症拡大、事故などの発生時に、工学・理学および社会科学等の知見を総合的に活用し、想定外事象を乗り越えられるレジリエントな社会作りに貢献する研究。

④ インクルーシブな町づくりに関する研究

障害者等も包摂(インクルード)する暮らしやすい町を作るための、建物や交通システムのようなハードの側面とそこに住む人間のあり方といったソフトの側面の双方からの研究。

⑤ 少子高齢社会における国内建設産業のあり方についての研究

人口構成の変化が確実なわが国において建設産業がどう維持されうるかについて、建設需要予測、建設労働人口の推移、女性の参画、自動化、国際化等の幅広い視点から分析、提案する研究。

⑥ 将来の日本における建設分野に関連する社会問題の解決に関する研究

現在の日本の状態から外挿した 2050 年の日本における建設分野に関連する社会問題を一つ取り上げ、その問題の対策となりうる技術・制度・法律の実現に向けた研究。

公募期間 2022 年 7 月 1 日(金)～11 月 20 日(日) 予定

募集要項等の詳細は財団HPに 6 月中旬掲載いたします

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人鹿島学術振興財団 HP よりお願いいたします。

<https://www.kajima-f.or.jp/contact/>